

【平成30年度矢口小学校授業改善プラン】

音楽科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

<p>取組における成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能を積み重ねていける様に共通事項を軸にして指導計画を作成したことで、児童は適切な用語を使って考えたり発言したり出来るようになってきた。 ・中音域での頭声的発声の定着に課題がある。
--

音楽科における内容別・観点別分析

	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽、鑑賞、どの活動にも意欲的に取り組める児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜に示された音楽記号に基づき、演奏を工夫する活動に取り組んでいる。この経験を積むことで、自発的に演奏を工夫する児童が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽では個別の指導が必要である。 ・合唱における頭声的発声は、意識して高音部を歌うことが出来るが、中音域より下での実施が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴く視点を提示することで、曲の構成に気付くことが出来る。 ・聴いて発見したこと、感じたことを文章にまとめるのはやや難しい児童もいる。

授業改善のポイント

<p>分析を受けて、取り組む柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の積み重ねを実感出来る系統的な指導を計画し、定着をはかる。 ・頭声的発声の中音域に広げる。 ・発見したことや気付いたことを演奏や言語等で表現し、他者に伝える力を伸ばす。
--

音楽科の授業改善策

<p>〈中・高学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個、ペア、少人数、全体等、活動に応じて形態を工夫し、児童同士の学び合いを取り入れた授業をする。 ・毎時適切な音楽用語を使用して授業を進行し、用語の定着をはかる。 <p>〈中学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを他者に伝える時の手がかりとして、キーワードや話型を掲示する。 <p>〈高学年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術向上のためのチェック項目を作成し、児童が自分の課題を把握出来るようにする。 ・高音域の発声の中・低音域へとつなげられるように授業を構成する。
--

平成30年度の成果と課題

--